

ふるさとの山を歩く 第7回

どうとこやま ～洞所山～

〈題字〉荒谷 大丘さん



山頂を目指し、尾根へ差しかかると、海田総合公園裏へ抜ける新峠が現れる。新峠は、海田町・城山・洞所山方面への交差点であり、昔



▲ 登山道

初神地区を代表する洞所山（標高641m）は、海田町境に位置する。今回は、初神地区の砂防堰堤より西側の登山道から山頂を目指した。帰路は、三谷川沿いに下山して、砂防ダムの東側の登山道へ抜けるルートを通った。

「戦前の軍都
広島市を
見下ろす
～洞所山～」



▲ 新峠（下れば海田総合公園）

付近には、戦前の「陸軍省」が立てた境界標石が見られる。古い標石は明治32年に立てられたものである。



▲ 陸軍省と刻印された標石

日清戦争時、広島市へ大本営（広島大本営）が一時的に移動されて以降、軍都の機能を果たしてきた広島市に関連して設置されたといわれている。山頂からは、残念ながら、熊野町を見渡すことはできないが、広島市・海田町方面を展望する絶景ポイントがある。今回、紹介のコースは登りも下りも、やや急傾斜で細い箇所のある登山道のため、健脚な方にお勧めしたい。



▲ 広島・海田方面

健脚でない方は、比較的登山道が整備されている赤穂峠から城山を抜けるコースまたは、海田総合公園裏から目指すコースをお勧めしたい。



▲ 途中に見える熊野方面

取材／諏訪本・立花
竹爪・尺田

低学年書道科の推進等を要望

広島県選出の国会議員6名を訪問し、熊野町の更なる発展のため要望活動を行いました。

要望内容

- 1 低学年書道科の推進**
町独自で実施している低学年書道科の取り組みが安定的、永続的に推進できる行財政基盤の強化に対し、理解と支援を要望。
- 2 国道2号バイパスの整備促進**
町内の交通渋滞の緩和のため「山陽自動車道」、「国道2号」及び「県道矢野安浦線」が適切な交通配分となるよう、「東広島バイパス」及び「安芸バイパス」の整備促進を要望。



▲ しっかりと町の要望を伝えました。

市民総参加で取り組む 健康づくり

～総務厚生委員会～

10月18日、奈良県宇陀市を訪問し、「健康都市 ユウエルネスシティ 宇陀市」について調査を行いました。

この「健康都市 ユウエルネスシティ 宇陀市」とは、「市民の誰もが健康で幸せと思えるまち」を表し、「人々が身体の健康だけでなく、生きがいを感じ、安心して豊かな生活を送れるまちを目指す」という考えです。



宇陀市では、「健幸」をまちづくりの基本に据えた政策を実行することで、健康長寿のまちの実現を目指しています。

具体的な目標に、健康寿命（65歳以上の方が元気で自立した生活を送ることができる期間）の延伸を掲げており、ラジオ体操の普及や健康ポイントなどを導入し、市民総参加で健康づくりに取り組んでいます。

教育行政の新たな 発展のために

～文教委員会～

文教委員会は、一昨年4月の町議会議員選挙後の委員会改選により、前任委員2名、新任委員3名で新体制をスタートさせました。

まずは、委員会内で情報を共有するために、町内全ての学校施設と社会教育施設を視察しました。



また、熊野町の教育行政の現状と計画について、教育委員会から説明を受けるとともに、各委員からは、疑問点や問題点、改善点等について、積極的に質問を行ない現状把握に努めました。

その他に、教育の先進自治体への視察を積極的にに行い、委員会での協議を重ね、町教育行政に、新たな発展を促すよう活動を行っています。

本委員会では、教育は自治体の将来を担う基本であると考え、今後も労を惜しむことなく、町民の目線を忘れずに活動を行ってまいります。

「就農定住研修事業」 を調査

～産業建設委員会～

11月24日、福井県若狭町にある「かみなか農楽舎」を訪問し所管事務調査を実施しました。

若狭町では、「次世代の定住促進」と「住民自治の推進」を基本戦略の柱とした町づくりに取り組んでいます。

この一環として、かみなか農楽舎では、「就農定住研修事業」を行っており、都市の若者に対し、2年間の農業研修と農村生活研修を行ない、スムーズな就農ができるように、町内の地域農業者のもとで専門的な基礎知識や生産知識を習得する外部研修制度も実施しています。



これまでに40名以上の研修生を迎え、その内半数以上が、若狭町内に新規就農者などとして定住し、農業と農村地域の再生・活性化の一翼を担っているという成功例について学びました。